

リハビリテーション総合実施計画書

計画評価実施日: 年 月 日

患者氏名: 男・女 生年月日(西暦) 年 月 日 ( 歳) 利き手 右・右(矯正)・左
主治医 リハ担当 PT OT ST 看護 SW等
診断名・障害名(発症日、手術日、診断日): 合併疾患(コントロール状態): リハビリテーション歴:
日常生活自立度: ○J1 ○J2 ○A1 ○A2 ○B1 ○B2 ○C1 ○C2 認知症である老人の日常生活自立度判定基準: ○I ○IIa ○IIb ○IIIa ○IIIb ○IV ○M

Table with 3 main columns: 評価項目・内容 (コロン(:)の後に具体的内容を記入), 短期目標(ヶ月後), 具体的アプローチ. Includes sections for 心身機能・構造 (意識障害, 感覚障害, etc.), 基本動作 (寝返り, 起き上がり, etc.), and 活動 (ADL, 食事, 移乗, etc.).

Table with 3 main columns: 評価, 短期目標, 具体的アプローチ. Includes sections for 参加 (職業, 経済状況, etc.), 心理 (抑うつ, 障害の否認, etc.), 環境 (同居家族, 親族関係, etc.), 第三者の不利 (発病による家族の変化, etc.), and 1ヶ月後の目標 (本人の希望, 家族の希望, etc.).

(リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)
1. 日常生活自立度の欄については、「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について(平成3年11月18日 老健第102-2号)厚生労働大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJ1,J2A1,A2,B1,B2,C1又はC2に該当するものであること。
2. 認知症である老人の日常生活自立度判定基準の欄については、「認知症である老人の日常生活自立度判定基準」の活用について(平成5年10月26日 老健第135号)厚生省老人保健福祉局長によるランクI,IIa,IIb,IIIa,IIIb,IV又はMに該当するものであること。
3. 活動の欄におけるADLの評価に関しては、Barthel Indexに代えてFIMを用いてもよい。